会長方針

2026～2027年度

《ＲＩ会長メッセージ》

持続可能なインパクトを生み出そう

オラインカ・ハキーム・ババロラ
トランス・アマディ・ロータリークラブ
ナイジェリア・リバーズ州
2026～2027年度 国際ロータリー（ＲＩ会長）

会　長　諸星　道治

RI会長は、持続可能なインパクトを生み出そうと言うメッセージを出されました。自分自身を見直し、自身のロータリーストーリーを共有し、インパクト、活動によってもたらせられる長期的で変化して行こうという内容とのことだそうです。そして、今年度、中込ガバナーは、寛容の精神をもって、相互理解を深め、「繋げよう！変化からインパクトへ」のビジョンを出されました。一人でも多くの方がロータリーに共感し、楽しめるようにクラブ会長を中心としたクラブ会員の皆様と一体となって活動してまいりますとのことです。

今年度の私の活動方針は、少人数のクラブのため

・第一に、会員増強の共有

会員全員が増強意識を高め、一人でも多くの新会員の増強を共有する。（増強のストリーを共有）

・第二に、四代奉仕活動の共有

人任せにしない、奉仕活動に全員共有し協力し合う。
継続事業の見直し、継続すべきか?改善点・工夫する点はないのか？継続事業の検証をしながら活動する。

以上、第一・第二を重点に活動するとともに、明るく楽しいクラブ活動に努めたいと思います。